

TOTO

洗面化粧台



ラクラクシリーズ

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けください。
取付後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。


☆安全上の注意

- 取付前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けいただくために、必ずお守りいただくことをお知らせしています。
使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

- 本体と同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。
紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取付工事完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

表 示	意 味
 警告	この表示を無視して、誤った取り付けをすると、 ● 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容 を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り付けをすると、 ● 人が傷害を負う可能性が想定される内容 ● 物的損害の発生が想定される内容 を示しています。

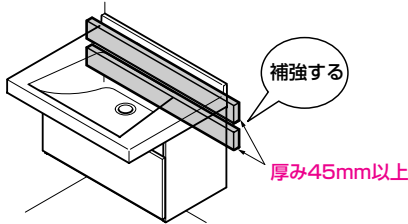
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

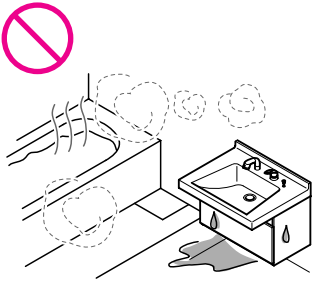
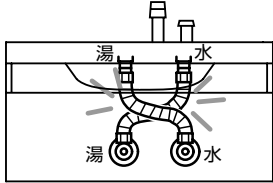
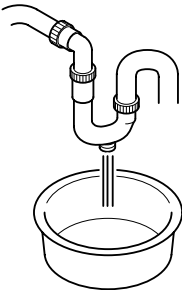
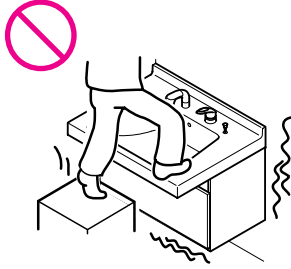
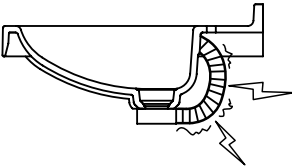

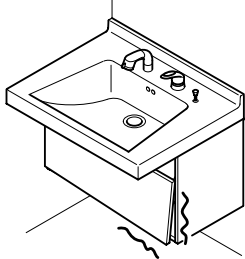
	この記号は禁止の行為であることを告げるものです。
--	--------------------------

警告

壁固定ねじ取付位置に木さんを入れて補強する

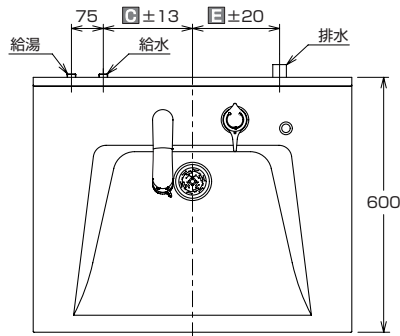
キャビネットが転倒し、けがをする原因になります。



注意			
<p>浴室など湿気が多い場所へ設置しない</p> <p>木部が膨潤する原因になります。</p> 	<p>湯・水を逆に配管しない</p> <p>水側でいきなり湯が出て、やけどをする原因になります。</p> 	<p>凍結が予想される場所でご使用になる場合は、施工説明書末尾の「☆水抜き方法について」を参照の上、凍結予防を確実に実施する</p> <p>凍結破損で漏水し家財などに損害を与える原因になります。</p> 	
<p>カウンターの上に乗らない</p> <p>故障および転落・転倒してけがの原因になります。</p> 	<p>オーバーフロー接続ホースを持ってカウンターを持ち上げたり、接続ホースを引っ張ったりしない</p> <p>接続ホースやその接続部が破損し、漏水のため家財等に損害を与える原因になります。</p> 	<p>工事完了後、給排水管から漏水がないことを必ず確認する</p> <p>漏水を起こすと、家財などに損害を与える原因になります。</p> 	<p>工事完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・ガタツキ・丁番のゆるみがないかを必ず確認する</p> <p>使用中にキャビネット・扉が落下してけがをする原因になります。</p> 

☆工事寸法

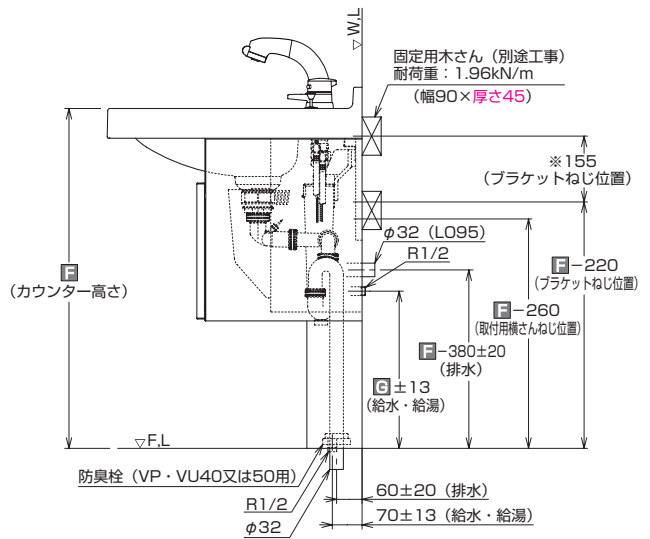
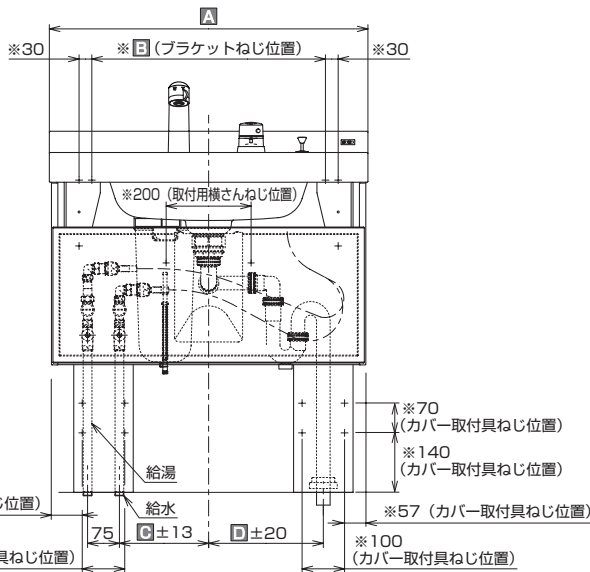
- 図はサーモ水栓タイプです。シングル水栓の場合も給排水位置は同じになります。
- カウンター高さについては、あらかじめお客様にご確認ください。
- 特殊品の場合の工事寸法は、承認図を確認してください。
- 止水栓は別途手配ください。（壁給水用LTL511C2U×2個）
- ※印の寸法は木ねじ位置を示します。



- 床給水の場合、下記止水栓と配管カバーユニット (LO100) を手配してください。

[床給水の場合の手配品番]

カウンター高さ	止水栓の品番
700~750mm	LT4BD25U × 2個
751~800mm	LT4BD26U × 2個
801~850mm	LT4BD18U × 2個



間口	ブラケット ねじ位置E	給水	排水 (床排水)	排水 (壁排水)
A	B	C	D	E
750	550	210	270	205
900	700	285	345	280
1000	800	335	395	330
1200	1000	435	495	430

(mm)

カウンター高さA	給水・給湯高さC
700~750	320
751~800	370
801~850	420

(mm)

☆設置上の注意

- 設置の際は床や製品などを傷付けないように取り扱いに注意してください。
- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。
- 取り付けは必ず平滑な平面としてください。
- 取り付けの際は、必ず付属されているねじを使用してください。

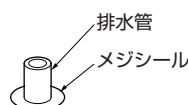
☆使用条件

- 水栓金具の使用条件は、水栓金具の施工説明書をご参照ください。

☆取付前の準備

- キャビネットの壁固定部分には、壁面に固定用木さんを入れてください。（壁面に固定用木さんが取り付けられない場合は、前面に厚み45mm以上のJAS規格の板を強固に取り付けてください）
- 器具を取り付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
- 排水管を所定の位置に取り出してください。（排水管はVU40、VU50またはVP40、VP50をご使用ください）

※排水管と仕上げ面の取り出し穴にすき間がある場合は、メジシールでシールしてください。



●排水立上げ高さ






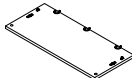


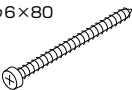
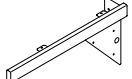





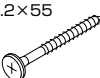









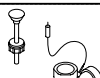


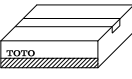





カウンター高さ	A
700~800	30
801~850	50

(mm)



☆付属部品明細

#は、A,B,C,E,J,M,P,Y色

		扉タイプ				オープンタイプ				
		LDSJ○○○#				LDSJ○○○○				
		75#	90#	100#	120#	75	90	100	120	
カウンター同梱	カウンター		1個				1個			
	目皿		1個				1個			
	ヘアキャッチャー		1個				1個			
	水栓カバー		1個				1個			
	タッピンねじ (水栓カバー用)	φ4.5×16 	1本				1本			
木部材の梱包箱に入っているもの	キャビネット (扉タイプ)		1個				-			
	扉		1個				-			
	小ねじ (丁番連結用)	φ4×7 	2本	3本			-			
	キャビネット (オープンタイプ)		-				1個			
	タッピンねじ (キャビネット固定用)	φ6×80 	6本				6本			
	ブラケット (右)		1個				1個			
	ブラケット (左)		1個				1個			
	固定金具		1個				1個			
	タッピンねじ (ブラケット固定用…6本) (カウンター固定用…4本) (固定金具用…2本)	φ4.5×16 	12本				12本			
	ステー		1個	2個			-			
小ねじ (ステー用)	φ5×8 	1本	2本			-				
取付用横さん		1本				1本				
タッピンねじ (取付用横さん用)	φ5.2×55 	2本				2本				
木部材の梱包箱に入っているもの	ニススペース板		1個				1個			
	化粧ねじ		2本				2本			
	水受けトレイ		1個				1個			
	水受けトレイ取付具		1個				1個			
	カバー取付具		1個				1個			
	タッピンねじ (水受けトレイ取付具用…2本) (カバー取付具用…4本)	φ4×25 	6本				6本			
	カバー		1個				1個			
	小ねじ (カバー用)	φ4×8 	2本				2本			
	エンドスペーサー		1個				1個			
	ワンタッチ 排水ボタン式		1セット				1セット			
排水トラップ式		1セット				1セット				
防臭栓		1個				1個				
取扱説明書 (保証書付)		1冊				1冊				
金具梱包	水栓金具 (保証書付) 	1セット				1セット				
配管カバーユニット(別売品) L O I O O	カバー取付具		1個				1個			
	タッピンねじ (カバー取付具用)	φ4×25 	4本				4本			
	カバー		1個				1個			
	小ねじ (カバー用)	φ4×8 	2本				2本			
	エンドスペーサー		1個				1個			

水栓カバーとタッピンねじは水栓操作レバーが右または左取付仕様の場合のみ同梱されています。

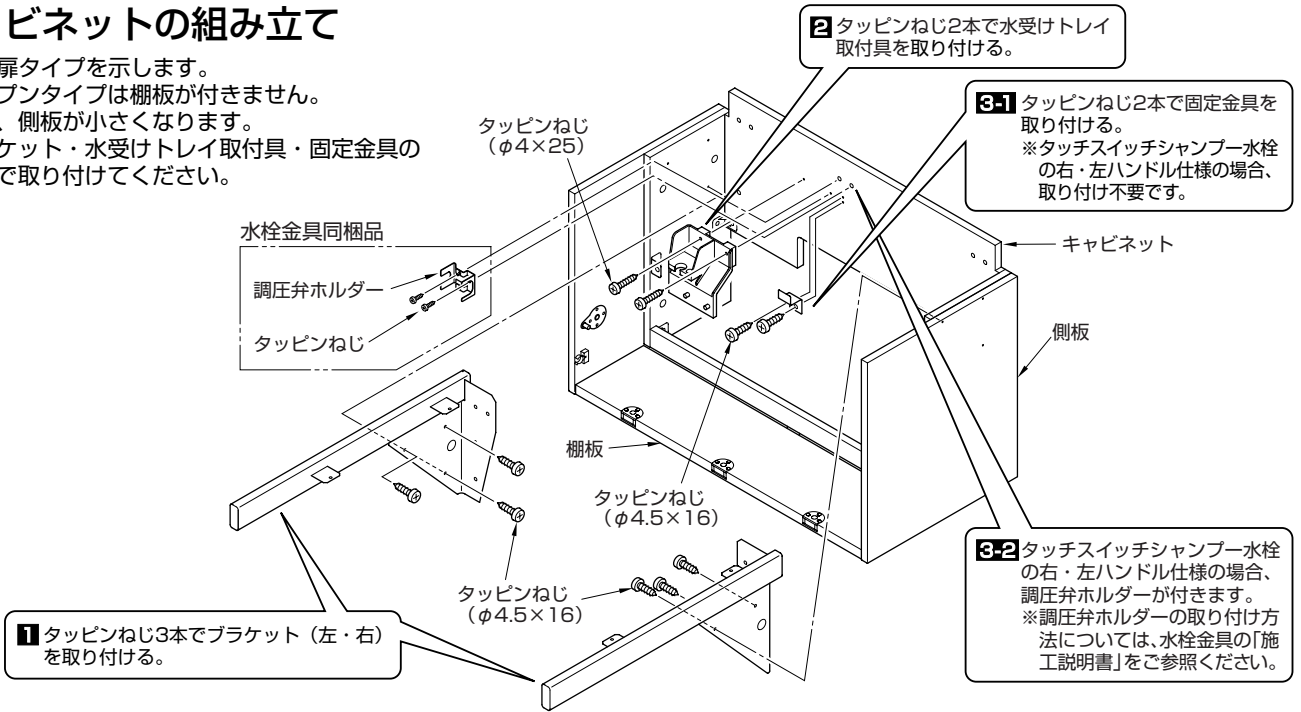
水栓金具の部品明細は水栓金具の施工説明書をご覧ください。

☆取付手順 (番号順に取り付けてください。)

※タイル・コンクリート壁の場合は、現物に合わせて木ねじ位置に下穴をあけ、木ねじ用プラグを打ち込んでおいてください。
 (プラグ用の下穴は必ず使用しているプラグ指定のドリル径であけてください。)
 ※木ねじで固定する時は、下穴を設けてください。
 ※ねじ類は必ず付属ねじをご使用ください。

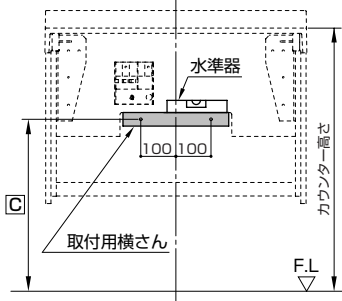
①キャビネットの組み立て

- 図は扉タイプを示します。
 オープンタイプは棚板が付きません。
 また、側板が小さくなります。
 ※ブラケット・水受けトレイ取付具・固定金具の
 順序で取り付けてください。

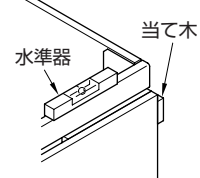


②キャビネットの取り付け

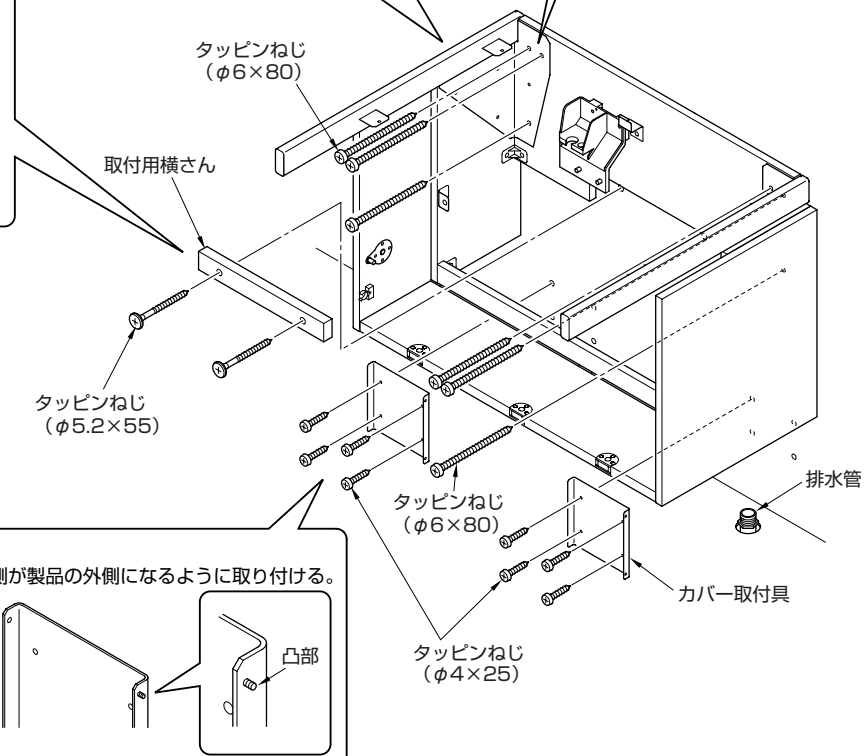
- 1** 取付用横さんを壁に固定する。
 水準器で取付用横さんの水平を確認する。
 水平でない場合は、壁固定ねじをゆるめて水平になるよう調整してください。



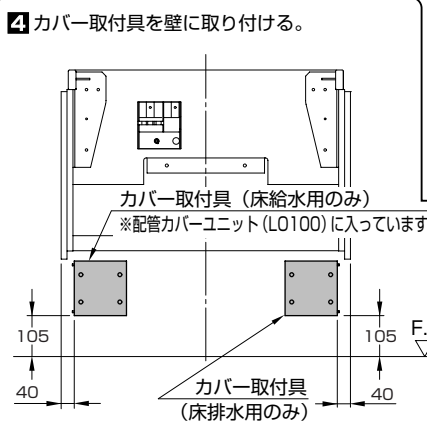
- 2** キャビネットを取付用横さんに仮置きし、垂直を確認する。
 垂直でない場合は、当て木などで調整してください。



- 3** タッピングねじ左右3本で、キャビネットを壁に固定する。
 ※ねじに合わせてビットを選定してください。



- 床給水・床排水の場合
 ※壁給水・壁排水の場合は、カバー取付具は不要です。



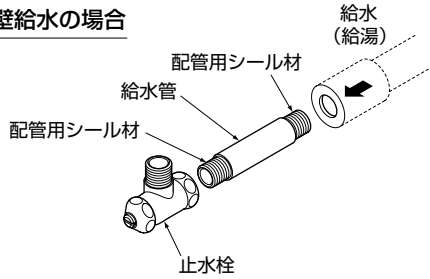
凸側が製品の外側になるように取り付けます。

☆取付手順 (続き)

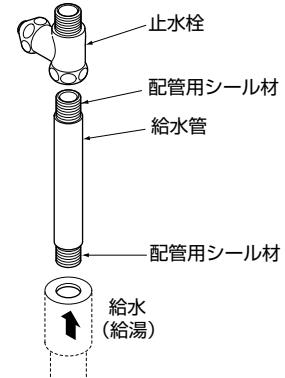
③ 止水栓の取り付け

- 止水栓は工具で十分に締め付けてください。

壁給水の場合



床給水の場合



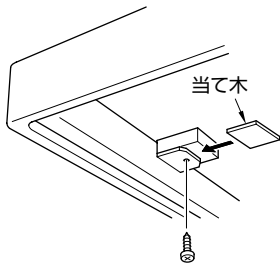
④ カウンターの取り付け

- カウンターをキャビネットに載せ、下からねじで固定します。

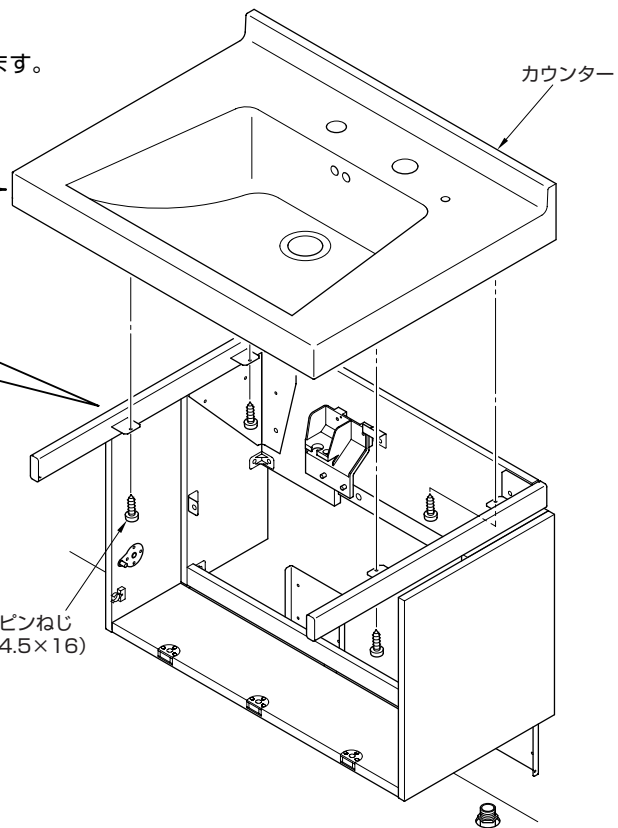
1 カウンターをキャビネットの上に乗せる。

2 カウンター下から固定する。
(4ヶ所:各1本)

※カウンターが水平に取り付けられない場合は、当て木などで調整してください。



タッピンねじ
(φ4.5×16)



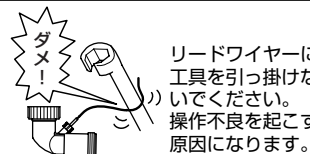
⑤ 水栓金具・水受トレイの取り付けおよび給水・給湯ホースの接続

- 水栓金具・水受トレイの取り付けおよび給水・給湯ホースの接続については、水栓金具の「施工説明書」をご参照ください。

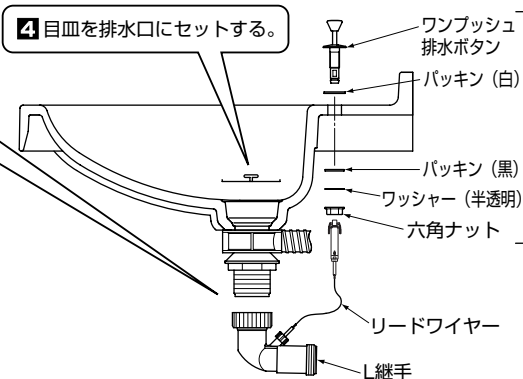
⑥ ワンプッシュ排水ボタンの取り付け

- 1** L継手を真後ろに向け、ナットを確実に締め付ける。
※工具は使用しないでください。

⚠ 注意

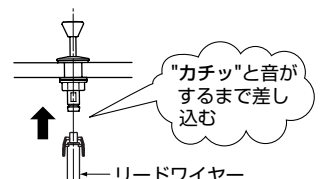


4 目皿を排水口にセットする。



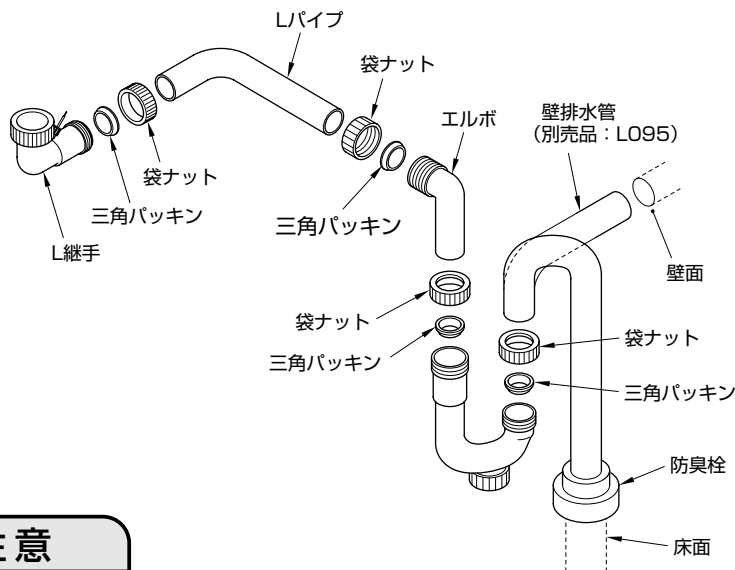
2 ワンプッシュ排水ボタンをカウンターに取り付ける。
※左水栓の場合は、ワンプッシュ排水ボタンの取付位置も左側になります。

3 リードワイヤーをワンプッシュ排水ボタンに取り付ける。

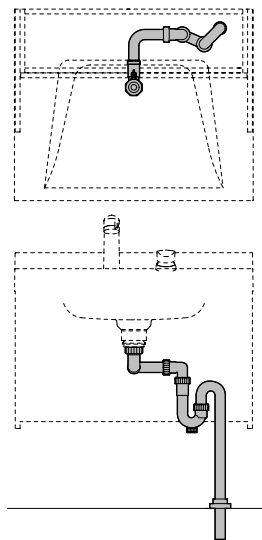


⑦排水トラップの取り付け

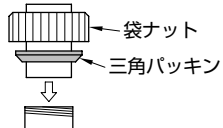
- 床排水トラップの場合は、排水管に防臭栓をはめてトラップを差し込みます。
- 袋ナットは必ず手で締めてください。工具を使用すると破損するおそれがあります。
- 集合住宅、高層住宅の場合、排水管とトラップを別売のアダプター（下表）で確実に接続します。



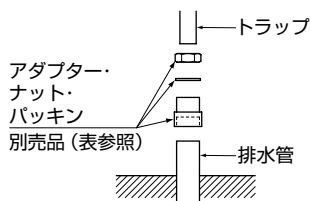
排水トラップの引き回し



注意



排水トラップ接続の際は、パッキンの向きに注意してください。



＜アダプター接続の場合＞

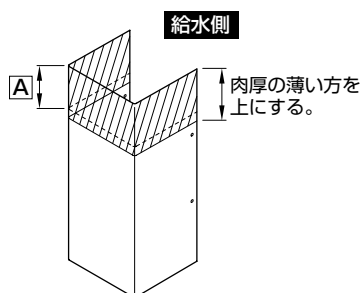
アダプターの種類	サイズ
T1122 (鋼管用)	R1 1/4
L048 (塩ビ管用)	40用
L049 (塩ビ管用)	50用

⑧漏水の確認

- 通水し、配管接続部に水漏れがないことを確認してください。

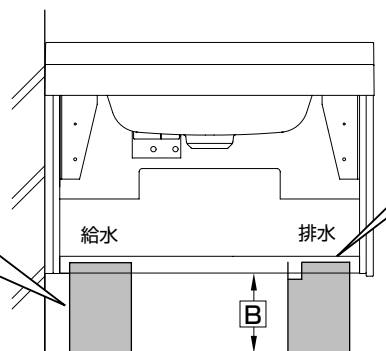
⑨カバーの切断（床給水・床排水の場合）

1 床給水用カバーの切断 (配管カバーユニット: L0100)

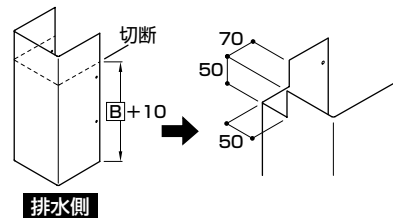


●カバーカット寸法

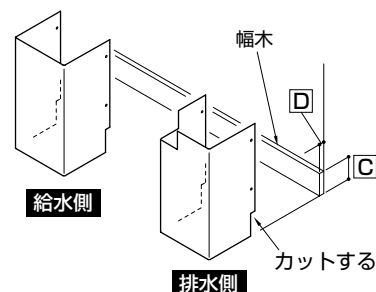
カウンター高さ	A
700~750mm	100mmカット
751~800mm	50mmカット
801~850mm	カット不要



2 カバーを B+10 の高さで切断する。さらにカバーの内側角部を下図のように切断する。 ※肉厚の薄い方を上にする。

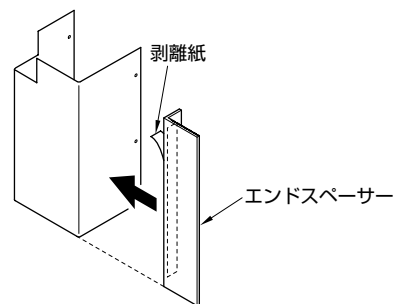


3 幅木がある場合は C/D 寸法を切断する。



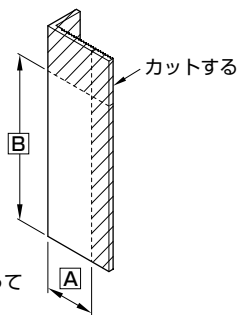
⑩カバー・エンドスペーサーの取り付け（床給水・床排水の場合）

2 エンドスペーサーの剥離紙を剥がして、カバーに貼り付ける。その際、カバー下端と前面を合わせて貼る。

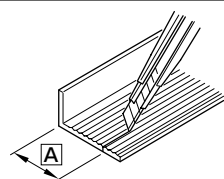


1 エンドスペーサーのカット

- 側板が壁やトルキャビネットと隣接する時のみエンドスペーサーを取り付ける。
- カバーを仮置きしてA寸法を測定する。

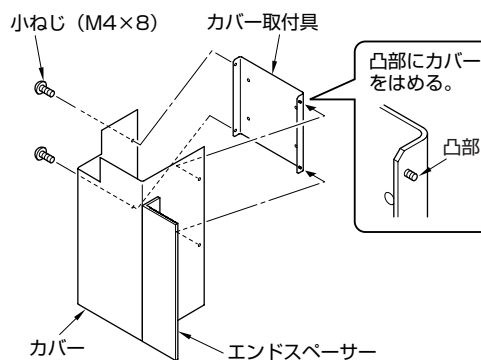


A B寸法を測ってカットする。



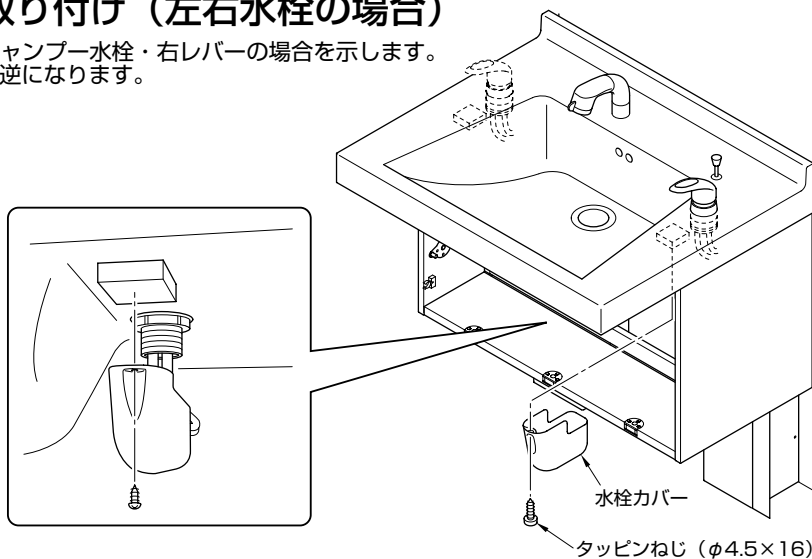
※A寸法はカッターまたは万能バサミでカットできます。

3 小ねじ2本でカバーをカバー取付具に取り付ける。



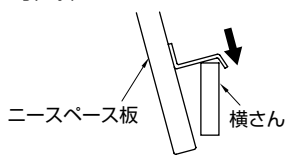
⑪水栓カバーの取り付け（左右水栓の場合）

- 図はシングルレバーシャワー水栓・右レバーの場合を示します。左レバーの場合は左右逆になります。

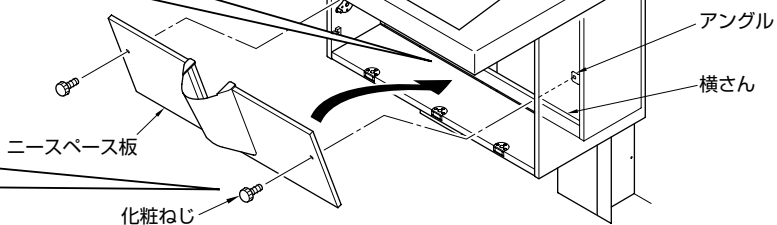


⑫ニースペース板の取り付け

1 ニースペース板を横さんに引っ掛ける。

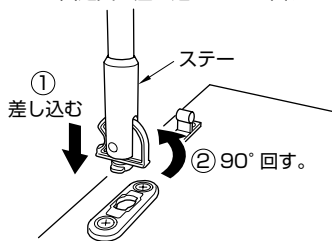


2 扉を開けてニースペース板を化粧ねじでアングルに固定する。



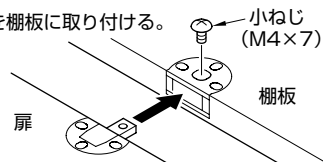
⑬扉の取り付け（扉タイプのみ）

1 ステーを固定具に差し込み、90° 回す。



- ・LBJ75/90……右側のみ
- ・LBJ100/120…左右取り付け

2 扉を棚板に取り付ける。

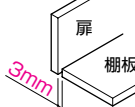


- ・LBJ75/90……2ヶ所
- ・LBJ100/120…3ヶ所

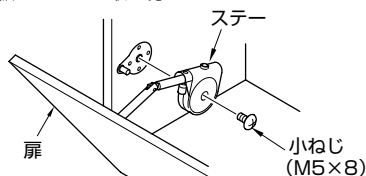
⚠ 注意

【扉調節時の注意】

扉と棚板のすき間が狭いと扉が開きにくくなる場合があるため、必ずすき間をあけるようにしてください。

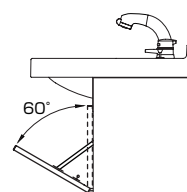


3 側板にステアーを取り付ける。

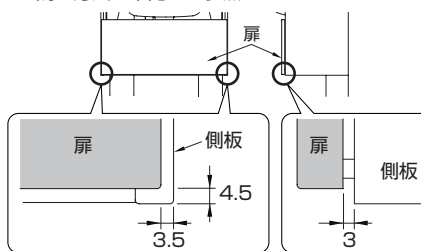


- ・LBJ75/90……右側のみ
- ・LBJ100/120…左右取り付け

5 扉の開き角度は最大60°です。

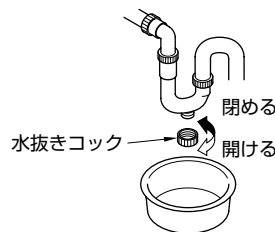


4 扉のチリを調整する。調整方法は下記をご参照ください。



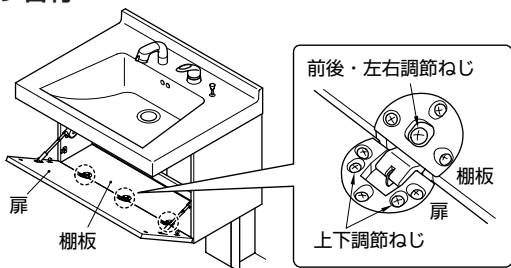
☆水抜方法について

- 水栓金具の水抜方法については、水栓金具の「施工説明書」をご参照ください。
- 器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けています。別途設備された水抜栓の操作と合わせて次の要領で水抜きをしておいてください。また、お客様にも水抜方法をご指導ください。



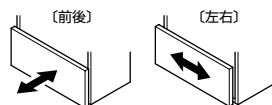
☆扉の調整方法

■各部の名称

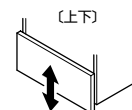


■扉の調整方法

前後・左右調整
すべての丁番の前後・左右調節ねじをゆるめ、扉を前後・左右に動かし適当な位置を選び、しっかりねじを締めます。



上下調整
すべての丁番の上下調節ねじをゆるめ、扉を上下に動かし適当な位置を選び、しっかりねじを締めます。



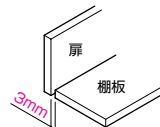
⚠ 注意

調整後ねじはしっかり締めつけて、ゆるみのないことを確認してください。締め付けていない場合は、扉が外れるおそれがあります。

注意

扉調節時の注意

扉と棚板のすき間が狭いと扉が開きにくくなる場合があるため、必ずすき間をあけるようにしてください。



☆取付完了後の確認と清掃

- 扉の傾き・ガタつきなど、丁番のゆるみがないことを確認してください。
- キャビネットが壁に完全に固定されているか確認してください。
- 通水し、配管接続部に水漏れがないことを確認してください。
- 製品に付いた汚れ（プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む）は、ぬれた布をかたく絞ってふき取ってください。その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤を付けてふき上げ、最後にからぶきしてください。シンナー・ベンジンなどの使用は表面の変色・変質の原因となりますので、絶対に使用しないでください。
- カウンターと壁面が接する部分をコーキングしてください。

(白…YG902S、透明…YG903S)

